

こんにちは、初めてメールいたします。

シェパードを迎えようという事になり、準備として調べ物をしていてホームページを見つけた者です。私は貴団体を初めて知りました。もしよろしければ発足年や沿革、活動内容などを教えていただきたく思いメールしました。

メールアドレス

住所

名前〇〇〇〇

電話番号

2010年1月、一般社団法人 WUSV 日本支部として成立

2013年12月、SVJが法人格と業務全般を引き継ぎ

既存のシェパード犬血統書発行団体（協会）は複数あり、一頭の犬が複数の血統書を保有しています。このことはシェパード犬を「飼育する」「繁殖する」「催しに参加する」といった場合に、所有者に非常に負担となっております。そして、それぞれの協会が独自の訓練基準や審査基準を設けて、互いに認め合うことはしません。言わば協会存続のための協会であってシェパード犬のための協会ではありません。

そのような日本のシェパード犬環境を何とか改善したいと、愛知県の山田幸雄氏（SVJ 理事長）が先頭に立ち、一般社団法人 SVJ（旧 WUSV 日本支部）を創立されました。主に既存協会の元理事や日本トップレベルのドッグトレーナーで構成されています。我々は、ジャパニーズシェパードではなく、原産国ドイツのスタンダードに従ったドイツシェパード犬作出のために、飼育者のお手伝いと指導ができる協会を目指しております。2016年1月現在、登録は行っていますが血統書の発行はいたしておりません。会報は発行いたしておりません。活動内容につきましては SVJ ホームページでご確認ください。

お問い合わせ、ありがとうございました。

SVJ 事務局長 益田晴夫

ホームページ見させていただきました。

私は秋田犬の世界しか知りませんが、ドイツシェパードについてもそういう事なのか・・・。組織が複数あると言う事は人間側の、我の方が強いと言う事なのでしょう。いつも思いますが、我がからむと難しいのでしょうか。

標準（スタンダード）は重要な物です。勝手に変えたりする物ではありませんし、原産国の標準が優先されてしかるべき物の筈です。なので、本来は国内の団体全てが同じ標準であるべきなのです。それが違うと言うのはそもそもおかしい話です。また、2015年12月末を過ぎても進展の無い新団体創設事項はどうなって行くのでしょうか。今後どのようになって行くのか、いずれにしろドイツシェパードを飼う方々、これから飼おうと言う方々には不安の種となるでしょうね。

外産、国産で差別があるのですか？あるとすれば何故なのでしょう？

我が家では毛色に希望（オールブラック又はウルフカラー）がありますので現在繁殖者を探しています。しかし確率的にはおそらく日本警察犬協会かシェパード犬登録協会の血統書のいずれかだと思います。カラーだけでは無くスタンダードに出来るだけ近い犬をとっています。SVJの登録以外の犬でも、登録は可能なのでしょうか？

血統書の発行自体はあっても無くても構わないと思います。アメリカのある単犬団体もそうです。登録すると登録票が一頭につき一つ発行され、それに記載されている登録番号によって全て管理されています。私は血統書を見ながら血統についての勉強をするのが好きなので多少寂しくは思いますが。

あと、これは全くの余談ですが・・・9月の世界選手権大会でのことは・・・あれはどういう事なのでしょう。ああいう件があると言う事は今後、日本選手団に対して厳しい目が向けられると言う事では無いでしょうか。何の為に6番目の犬がいるのでしょうか。そもそもチームリーダーの存在は何なのでしょう。そして一体何人のチームリーダーがいるのですか？一つのチームに。チームリーダーの役割とは何でしょう？複数のチームリーダーを置く意味は？多くの人間の組織の利権や人間の我が健康問題のある犬を無理に出すと言う結果を招いたのであると思いますが、部外者から見れば少々信じられない話です。

それでは

〇〇〇〇

〇〇さん、こんにちは。
メールありがとうございます。

SVJ では外産、国産の差別はありません。これは私の持論ですが、日本へ輸入される犬はヨーロッパにおいて、ほとんどがトップクラスの成績を獲得しています。日本には優秀な犬だけしか来ないんです。ですから輸入された優秀な犬だけ見ている＝日本人はヨーロッパの犬は全部が優秀なんだと錯覚しているのです。展覧会犬に関しては気候風土、水質などによって、日本で育った犬とヨーロッパで育った犬とは、毛質や骨質に少し違いを感じることは正直あります。しかしそれ以外、大きな違いはないと思います。

訓練に関しては何の差もありません「輸入犬の方が優れている」と、まるで生まれつきのように説明する人がおられたら、その人は嘘つきです。私が日本で繁殖して、私が日本で訓練したドイツシェパード犬（所有者は別の方）が、2009年の全犬種の世界選手権で6位（126頭中）に入賞して証明しました。

<http://www.schutzhund.jp/2009fciwmeinzeln.pdf> 1位～5位までベルギーシェパードでしたから、ドイツシェパードとして世界最高位でした。

ただし、日本はヨーロッパから飛行機で10時間以上の極東の島国ですから、繁殖のベースを広げる、そして維持するために輸入犬は必要です。多いほど良いです。

SVJ への登録の件ですが、アメリカのスタイルと全く同じです。カードタイプの登録証を発行いたします。シェパード犬を飼われたら、是非、登録してください。お待ちしております。

よろしければ、名前や住所は出しませんので〇〇さんとのメールのやりとりを SVJ のホームページで紹介してもよろしいでしょうか？

益田晴夫

こんばんは

どういう訳か返信が私の買物用メールアドレスに変わっていました。時々あるのですが不思議な現象です。

輸入犬に関してはおっしゃることはわかります。もし、常に輸入犬の方が国内産より上ならば、JKC のドッグショーでも輸入犬ばかりが上位に来る筈ですから。実際はそうではないですね。シェパードやマリノアに関わらず全ての犬種でそうだと思います。いたずらな外産賛美は犬を見る目を曇らせます、私はずっとそう思っています。

ただ遺伝子の幅を広げると言う事は重要です。なので海外からの輸入は一定数あった方が良く私も思います。ただいたずらに外産ばかり良しとするのはダメですけど。ええ、2009年の大会の事は知っています。一応何年か前遡って調べています。ただ素人なので用語が良くわからなくて細かい所はわかりませんが。6番目に日本の名前が出ていて「これはすごい！」と思いました。

私も今回シェパードを迎えたらその後何年かしてヨーロッパから犬を輸入するかもしれません。私の頭の中には遺伝子の幅を広げるという意識は常にあります（私の別犬種での経験からですが）

子犬を迎えたら遺伝子検査と股関節、肘関節のレントゲン検査をするつもりですが他に検査する物はあるでしょうか？

まだ、どんな仔を迎えるか全くわからないのですが。展覧会系かもしれないし訓練系かもしれないし・・・シェパードの事はまだ調べている最中なので。

メールのやりとりをホームページに出す事は構いません。

それでは
〇〇〇〇

遺伝子検査と股関節、肘関節のレントゲン検査の他、将来、繁殖なさるのなら訓練試験の合格、展覧会の出陳（訓練系でも）などクリアしなければならないことがあります。日本では何十年もそれがなされていなかった、あるいはジャパニーズスタンダードで行われていたので、今後は大きく変わっていかねばなりません。繁殖をされないのであれば、義務的なものはほとんどありません。

益田晴夫